

快適な周遊、旅を満喫する箱根温泉まるごとDX事業

現状及び課題、解決策と目指す姿

箱根は、首都圏を中心に年間約2000万人が訪れる、多くの文化遺産や芦ノ湖、大涌谷等の自然、17の温泉が魅力の一大観光地である。

地域内の多彩な観光コンテンツを活用した旅行者の周遊性の向上が重要であり、情報提供の不足、交通渋滞の慢性化などの課題が挙げられる。

本事業では、バス交通のGTFSフォーマット対応、箱根観光デジタルマップ（交通機関の混雑、駐車場の満空情報、渋滞情報、飲食店混雑の可視化を行い、観光周遊ルート・マップの表示、デジタルクーポンの発行、ガイドツアーマッチング・予約）を構築するとともに、BtoB向けにデータのオープン化を行う。

官民一体ALL箱根で、観光客に必要な情報の提供による快適な周遊を実現することで、観光客の満足度、消費の向上を目指す。

事業概要

交通、施設の混雑等を可視化、旅マエ、旅ナカで情報提供により、旅行者の利便性向上・周遊促進を実現し、旅の快適性を一層、向上させる。

目標

旅マエから旅ナカでの情報収集や予約における旅行者側の利便性を高めると同時に、旅アトの満足度・推奨度向上につながる仕組みを作り出すことで、域内周遊やリピーターの来訪を促し、観光消費を拡大させ、地域の活性化に貢献する。

実証内容

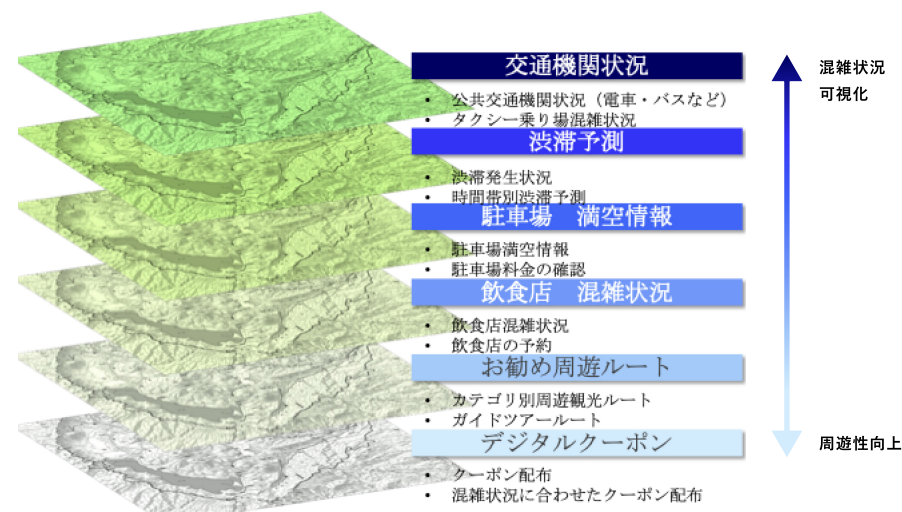
観光周遊、観光消費を促すデジタルマップを構築する。

集積したデータをオープン化し、広域連携・新たなクラウドサービスへの提供を行う。

目標値

KGI 旅マエ、旅ナカの情報発信による行動変容数：233回/月

KPI 箱根観光デジタルマップの月間利用者数：11,650人/月



様々な情報を可視化・レイヤー化して、人流の滞留を削減して、周遊を促す

取組エリア：神奈川県足柄下郡箱根町 コンソーシアム名：箱根温泉DX推進コンソーシアム（代表事業者：箱根DMO 一般財団法人箱根町観光協会）